

はじめて野あそびクラブ

趣旨 はじめての野あそびを通して、自然や環境への理解を深めるとともに主体性や社会性、自己肯定感を育む。

企画運営のポイント 全事業においてプログラムは、家族単位で活動できるものを基本とし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から必要以上に多くの人と関わることがないようにした。募集定員も5家族とし密な空間を作り出さないように配慮した。(冬の宿泊事業については、10家族募集)対象の子どもの年齢幅が広いので、タイムスケジュールに余裕を持たせ、家族毎の興味に応じて自由に遊べる場づくりを意識した。

募集対象 ひだか野あそび会員に登録した、幼児～小学2年生の子どもを含む家族



【日程・参加人数】 (口内は家族数)

7月11日(土) 21人⁵・12日(日) 14人⁵
・18日(土) 17人⁵・19日(日) 20人⁵

【会場】

国立日高青少年自然の家 からまつキャンプ場

【内容】

- ・キャンプ場探検 (Sun 太ビンゴ)
- ・プレーパーク ・クラフト

【日程・参加人数】 (口内は家族数)

8月1日(土) 20人⁵・2日(日) 17人⁵
・29日(土) 11人³・30日(日) 荒天のため中止

【会場】

国立日高青少年自然の家 冒険の森

内容

- ・沢あそび ・餃子の皮でピザづくり
- ・プレーパーク ・クラフト

【日程・参加人数】 (口内は家族数)

10月3日(土) 10人³・4日(日) 14人⁴
17日(土) 13人⁴・18日(日) 10人³

【会場】

国立日高青少年自然の家・乗田養魚場 (町内施設)

【内容】

- ・魚釣り及び塩焼き体験
- ・はじあそ探検隊 (ウォークラリー)

【日程・参加人数】 (口内は家族数)

2月6日(土)～7日(日) 1泊2日 37人¹¹

【会場】

国立日高青少年自然の家

【内容】

- ・雪のプレーパーク ・プチツアー
- ・焚き火カフェ ・バウムクーヘンづくり

【成果】

- ・家族毎活動できるプログラム設定にした結果、「コロナ禍であるが安心して遊びを楽しむことができた」や「コロナ禍であるからこそ、このような企画はありがたい」という評価を得た。
- ・「外遊びの仕方がわからないから参加をした。家族で遊ぶ良いヒントを得た。」という声があり、事業だけの体験にとどまらない普及に繋がったと感じた。

【課題】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、家族間の交流を促すようなプログラムは実施しなかったが、交流を求める声が多々あったため、感染防止策を考慮しながらの交流プログラムについて考案する必要がある。